

# ステロイド軟膏は安全です

## ● ステロイド軟膏は安全です ●

1970年代に化粧ののりが良くなるという理由で、病気ではないのに長期間ステロイド軟膏を顔に塗り続けた女性がいました。やがてステロイドの副作用で顔全体が赤ら顔になった女性は裁判を起こしステロイドは悪魔の薬だという主張の先駆けになりましたが、この女性はステロイドを正しく使用していないという点で決定的な誤りを犯しています。

ステロイドの正しい使用方法とは**〈湿疹の程度に合った強さの軟膏を使い、皮膚がスベスベになったら止める〉**というもので、病気もないのに使い続ければ他のどんな薬でも副作用が起きるでしょう。

つまり使い方が悪い（一番悪いのは使い方を説明せず処方された医者ですが）のであってステロイドのせいではないのです。本来湿疹の特効薬であるステロイド軟膏が悪魔の薬というレッテルを貼られ”とにかく弱いランクのものを”という使われ方がされたために、アトピー性皮膚炎は難病だという誤解が生まれ根拠のない治療法がはびこったのです。

SOD軟膏はSODを含んでおらず中に含まれる最強ランクのステロイドが効いているだけです（K大学皮膚科にはSOD軟膏の被害者がたくさん受診されています）し、消毒や脱ステロイドも治療と呼ぶに値しません。

## ● ステロイド軟膏の副作用は？ ●

【副作用1】 皮膚が薄くなり血管が浮き出る。特に顔面に起きやすいため赤ら顔になる。

【副作用2】 軟膏を塗った部分に、とびひ・おでき・カビなどの感染が起きやすくなったり、体毛が濃くなる。

この2つの副作用はステロイドを正しく使えば起こらないし、仮に起こってもステロイドを中止して適切な処置をすれば元の状態に戻ります。またステロイド軟膏は塗った部分にだけ効果を発揮して、右腕に塗ったら左腕の湿疹が良くなるということは決してありません。これは軟膏が皮膚から血液に吸収されて身体他の部分に届くということがほとんど無いからです。薬の効果と副作用はコインの表と裏のようなものですから、“骨がもろくなる・顔が丸くなる・成長障害”などの皮膚以外の副作用はステロイド軟膏では起こらないことがわかるとおもいます。

以下にステロイド軟膏に対する誤解をまとめてみます。

### ● 徐々に効かなくなる？

初めは軽症の湿疹でも掻き続けると重症になります。この時以前に効いた軽症用の弱い軟膏を塗っても効かないのは、症状と合わないからです。皮膚の表皮細胞は約30日で新しく置き換わるため薬慣れることはなく、適切な軟膏ならいつでも効きます。

### ● 弱い軟膏、薄めた軟膏なら安心？

湿疹の程度に合わない弱いランクのステロイドはかえって症状を悪化させます。また軟膏をワセリンで薄めても効き目や副作用は変わりません。適切なランクをしっかり使うことこそ最も安全な方法です。

### ● 身体に蓄積する？

ステロイドでいったん良くなっても改善が不十分な段階で中止すると症状はすぐに悪化します。蓄積されているのなら中止してもしばらくは悪化しないでしょう。軟膏は身体に蓄積しません。

### ● 止めるとリバウンドが起こる・すぐ悪化する？

アトピー性皮膚炎は慢性の病気ですから治療を止めれば悪化するの当然です。リバウンドは飲み薬のステロイドが大量に身体に蓄積して起こるもので、軟膏では蓄積しないから起こりません。悪化してもきちんと軟膏を塗っていれば、徐々に再燃しにくい強い皮膚に変わっていくので安心してください。

### ● 皮膚が黒くなる？

長期間適切な治療がされないで皮膚の細胞が壊れ色素が沈着して黒くなってしまいますが、これは日焼けのようなもので湿疹をきちんと治せば数ヶ月で白くなり元に戻ります。ステロイドを塗ると逆に皮膚は白くなります。

### ● 軟膏を塗った後日焼けしてはダメ？

ステロイドやプロトピック軟膏を塗って日焼けしても皮膚がんなどのリスクが上昇することはありません。

ステロイド軟膏は正しく使えば驚くほどの効果を発揮し、しかも安全です。この薬に不安がある方はぜひご相談ください。



みずの坂こどもクリニック